

## 2009年第4回定例会・反対討論（12・14）

私は、日本共産党を代表して、各委員長報告に対して討論を行います。

最初に、議題94号・平成21年度大分市一般会計補正予算（第3号）についてです。

歳出・第7款商工費・1項商工費・2目商工業振興費に、企業立地促進助成金1億2497万2千円が計上されています。今回の助成対象企業は、これまで派遣業をおこなってきた企業ですが、精密機械部門に進出することは、派遣業法改正の先取りともいえます。大手企業には助成金は必要ないと思いますし、そもそも大企業むけ企業立地促進助成金は廃止すべきです。

つぎに、各款に職員給与削減などが計上されています。まず人事院勧告の問題です。今回の内容は、2003年に匹敵するかつてない0・35ヵ月もの削減、住宅手当の廃止などで、平均で15万4千円もの年収減となります。人事院勧告は、労働基本権制約の「代償措置」として公務員労働者の利益を擁護すべき制度であり、官民格差を機械的にあてはめることは問題です。最低賃金とともに社会的な所得決定基準となっている公務員賃金を引き下げるとは、日本経済をさらなる負の悪循環に陥らせるものなのです。

第2に、地域経済への影響です。政府は「デフレ状況にある」との見解を発表しました。これは、根本的には国内の消費購買力が極めて弱いことが原因となっています。賃金の低下は、消費者の買い控えをいっそう強めるものです。労働者全体の賃金底上げこそ重要なときに、民間も下がっているから公務員も下げるという措置は、大分市内の消費購買力も極端に低下させ、地域経済にとっても大きな影響が出てくることは、あきらかです。

第3に、市職員の給与減による影響です。夏に続いての引き下げは、総額で

約5億5千万円、過去最大規模の給与引き下げを行うという提案は、毎日のくらしは当然ですが、住宅ローン返済や高額な教育費の負担など、生活設計を脅かすこととなります。

人事院や人事委員会が依拠した民間の状況は、極端な輸出依存により生じさせた経済危機のツケを、内部留保を取り崩さず、株主配当も見直さず、派遣労働者の雇い止めなど雇用破壊と賃下げで、労働者にのみ犠牲を押し付ける財界・大企業の人件費削減こそ問題です。

以上の理由で、議題94号・平成21年度大分市一般会計補正予算（第3号）について反対します。

つぎに、議第96号・平成21年度大分市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）についても、職員の給与などの削減が計上されています。議第94号と同じ理由で、議第96号に反対します。

つぎに、議第125号・工事等請負契約の締結について（大分市複合文化交流施設整備事業）についてです。これは、公募型プロポーザル方式による随意契約で、複合文化交流施設の設計業務、建設工事、維持管理業務、運営業務を、総額124億9162万50円で、株式会社大分駅南コミュニティサービスと契約しようとするものですが、以下の問題があると思います。

第1に、市内では2006年から検討が進められてきましたが、市民には、昨年9月1日、初めて正式に公表されました。市民との協働のまちづくりを掲げながらも、パブリックコメントもわずか1カ月でした。あわせて、大分駅南をふるさととして住み続ける住民の方々の切実な意見や要望を、計画策定過程で十分に聞ききたかも疑問です。

第2に、経済危機が進行するなかだけに、地方自治体は市民福祉の向上を第一に市政運営を進めるべきと思います。市民の願いについては、財政状況厳しいと、後景に追いやられることがあるなか、複合文化交流施設建設という大型公共事業を進めることに市民の理解は得られないと思います。

第3に、民間施設も盛り込んだ施設となっていますが、このようなビッグプロジェクトをすすめるために日本管財がメインとなっています。地場産業、地場企業への経済効果は非常に薄くなると思います。

第4に、民間施設も含む施設となっています。建設、管理や運営を民間事業者任せるとしても、経済的、社会的リスクを抱え込み、ひいては大分市民に多大な犠牲を強いる可能性も否定できません。

第5に、昼夜ともににぎわいを求める公共施設としていますが、こうした施設に、桜ヶ丘保育所を移築することなども問題です。

以上の理由で、議第125号・工事等請負契約の締結について（大分市複合文化交流施設整備事業）について反対します。

最後に、議第105号・大分市公共下水道事業の設置等に関する条例の制定について、要望しておきます。来年4月1日から、地方公営企業法に基づく企業会計方式を導入することにより、経営状況、財政状況を明確にし、経営の効率化、健全化を図ることが提案されています。企業会計の導入によって、一般会計からの繰り入れを削減し、使用料の値上げの原因となることや、公共下水道の普及率が大幅に遅れることがないように、財政措置をこれまで以上に配慮することを要望しておきます。

以上で討論を終わります。